

丹波市の健康情報 第3弾

第3弾では、丹波市の歯の健康状況について、「丹波市歯周疾患検診」の受診状況のデータを元にお知らせします。

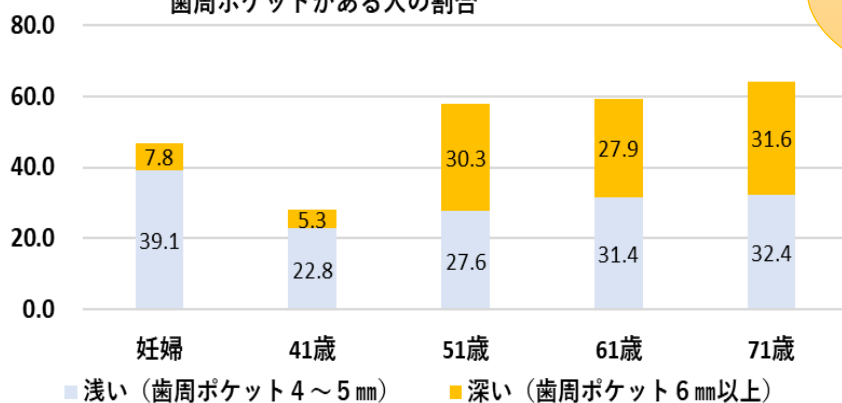


1. 歯周病の状況について

口の健康を維持することは、心身の機能維持や感染症も予防ができ、健康寿命を延ばすことにつながります。しかし、歯周病があると歯を失うだけでなく、生活習慣病の進行にも大きく影響します。

令和4年度に「丹波市歯周疾患検診」を受診された方のうち、**歯周病の目安**となる、「**進行した歯周ポケットがある**」方の状況は、下記の「図1」の通りです。

図1 令和4年度歯周疾患検診受診者のうち、進行した歯周ポケットがある人の割合



年齢が高くなるほど、歯周ポケットがある人の割合が高くなりますね。



※歯周病は、歯と歯茎の間の歯周ポケットにある歯垢(プラーク)の中で繁殖した「歯周病菌」によって起こります。

ポケットが深ければ深いほど、歯周病が進行して歯が抜けやすくなります。



2. 検診受診の状況について

歯周病は、**痛みや自覚症状がほとんどなく、気づかずに進行している**ケースが多くあります。毎日の口のお手入れとともに、**歯科医院での定期的な検診が必要**です。

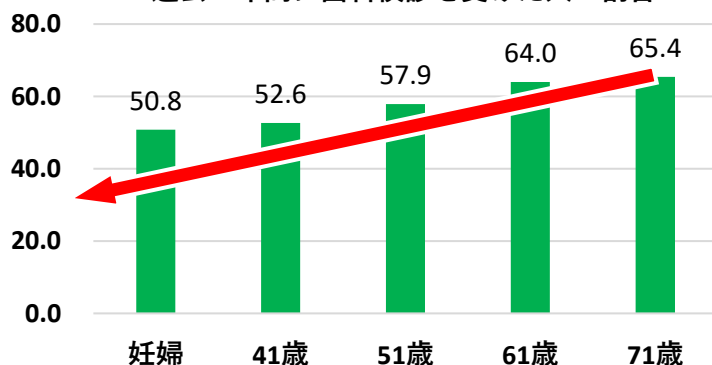
「表1」は、令和4年度「丹波市歯周疾患検診」の受診率、「図2」は受診された方のうち、過去1年間に歯科検診を受けた方の割合です。

表1 令和4年度丹波市歯周疾患検診受診率

*R3年度県全体との比較

	R4	県 (R3)
41歳	9.0	2.4
51歳	9.8	2.1
61歳	11.3	2.5
71歳	13.2	1.9
妊婦	36.2	28.3

図2 令和4年度歯周疾患検診受診者のうち、過去1年間に歯科検診を受けた人の割合



歯周疾患検診受診率は、県全体よりも高率です！

若い年代ほど、定期的な検診の受診率が低くなっています…。



- 歯周病の予防、早期発見や治療のために、**定期的に歯科検診を受けましょう！**
- 丹波市では、**出産までの妊婦さん、年度末 41 歳、51 歳、61 歳、71 歳の節目年齢**になる方を対象に、300円の自己負担で受診できる「**歯周疾患検診**」を実施しています。対象の方は送付済みの「**歯周疾患検診受診券**」の確認を！